

経営戦略研究科准教授(経営戦略専攻) 玉田 俊平太

1. 国際経済をリードする経営のプロフェッショナルを育成

関西学院大学は1993年から商学研究科にマネジメントコース(社会人向けMBAコース)を設置して専門職業人を育成してきた歴史があります。既に300名以上の卒業生がビジネスの幅広い分野で活躍しており、社会人向けのMBA教育では10年以上の実績を持っています。

学生は皆、高い目的意識を持っており、社会人学生は多様なバックグラウンドを持った第一線で活躍する方々です。教室では毎日、密度の濃い知的異業種格闘技大会が開かれています。

2. 理論と実践のベストミックス

教授陣は、研究者教員と実務家教員がバランスよく配置されています。また、多彩なカリキュラムを設定し、多様な科目の中から自分の目的に応じて学べるようになっています。ベーシック科目も充実していますので、ビジネスについて一から学ぶことも可能です。大阪駅にほど近い大阪梅田キャンパスは、8つの教室とパソコンを多数そろえ、多様なデータベースが自由に使えるなど、抜群の学習環境を整えています。

3. イノベーション実現指向のMOTプログラム

関西学院大学ビジネススクールのMOTプログラムは、経済産業省「技術経営人材育成プログラム導入促進事業」の支援を受けた、企業の技術経営上の問題を解決し得る実践的なMOT人材を育てるプログラムです。

日本の技術は優秀ですが、その割に国際競争力が低いのはマネジメントがうまくいっていないからです。既存のビジネスを凌駕する破壊的イノベーターとなるためには、技術力を新しいビジネスモデルへと昇華させるマネジメント能力が必要不可欠です。

関西学院大学がシンクタンクの役割を担い、企業がかえる課題の分析や解決への提案をするイノベーション実現指向の技術経営(MOT)プログラムが好評を博しています。

4. 効率的な学習を可能にする「学問答」のワンループ

1回の講義は、1時間半の授業を2コマ連続して行います。それぞれの授業では、最初に各回のテーマに対応したアイデアの提示(「学」)があり、そのアイデアに関する質問(「問」)とそれに応じたディスカッション(「答」)とを行います。これで1時間半。このワンループを「学問」と「問答」を合わせた「学問答」と呼んでいます。

まずは、無料のオープン講義や模擬講義を受けてみてください。また、学びたい科目を個別に学習する科目等履修生といった制度もあります。そして、学んでいく中でMBAという学位をめざしたいと思ったらMBAプログラムに入学してください。